

全ての武力紛争の平和的解決を求める決議案

イスラエルによるイランの核施設攻撃とイランの反撃、そして、米国のイラン核施設攻撃と、中東における軍事衝突の応酬が続いている。イラン核施設への攻撃について、米国のドナルド・トランプ大統領が、広島と長崎への原爆投下になぞらえ、「戦争を終わらせた」と発言したとされる。また、ガザ地区の非人道的状況は悪化の一途であり、ロシアによるウクライナ侵攻も終わりの見通しが立たない。

無^む辜^この民が犠牲となり、今なお、市民の生命が危険にさらされようとしている。被爆地・広島として、原爆投下を正当化するような発言、市民の自由を脅かす事態は決して看過、容認することはできない。

被爆 80 年を迎える広島市において、ヒロシマの心である核兵器の廃絶と世界恒久平和の実現を願う本市議会は、人道的立場から全ての武力紛争の平和的解決を強く求める。

以上、決議する。

令和 7 年 6 月 日
広 島 市 議 会